

宮之城町議会だより



麦田 博穂議員

## いきいきとした産業の 町づくりと景気対策は

### バリアフリー公営住宅 建設の推進を図る

フリー住宅を含めた公営住宅の建設推進を図りたい。

#### 府内のジェンダーフリーは

りと取るべきではないか。

こうの通う福祉の  
まちづくりは

町長 総合グラウンドや公園の整備を図り、交流人口の拡大とともに、町の活性化につながるように、積極的に取り組みたい。また、一部温泉付き住宅団地の造成や高齢者住宅整備計画を策定し、バリア

麦田議員 男女共同参画社会をつくるためには、役場が人事等で手本を示すべきではないか。

#### 町長 ジェンダーフリーは

#### 特認校助成は

いては、大事な視点であるので、十分留意して対策を講じていただき。

麦田議員 この制度が成功するには、学校・地域・行政の三者の連携が重要である。なかでも行政の助成は、不可欠である。姶良町等の先進地の取り組みを見習うべきではないか。

町長 具体的な対策を講じる必要があるが、コスト面や通報制度等、今後の問題として検討したい。

#### 学校週五日制の対応策は

麦田議員 完全学校週五日制で、子供の生活にゆとりを持たせ、「生きる力」を育むといったいふるが子を持つ親にとって学力の低下等、切実な問題である。その対応策をしつか

麦田博穂議員 経済不況、少子高齢化等課題が多いなかで、税収を増やすためにどのような手法で、畜産、農業、水産業、商工観光業を育成・振興していくのか。生産者や関係機関と一緒に取り組むべきではないか。

## 一体となつて 取り組む

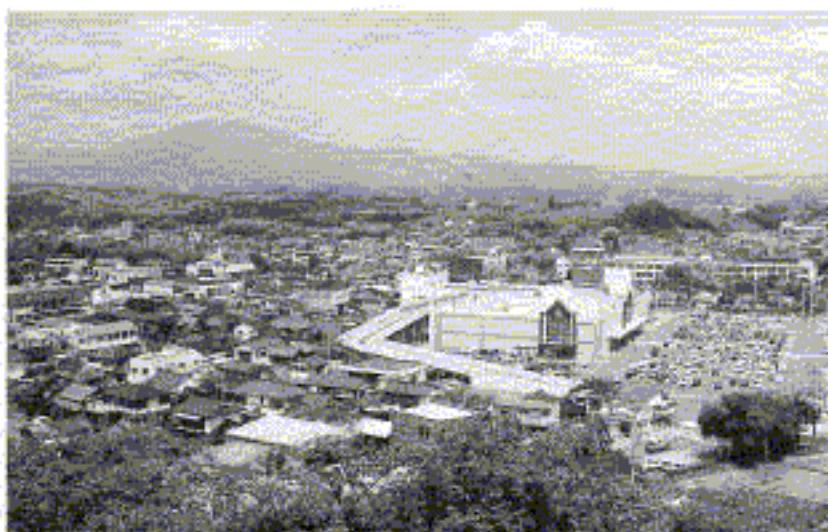
うるおいとやすらぎのあるまちづくりは

北村町長 この難局は、関係者や行政が一体となつて乗り越えていかなければならぬ。

麦田議員 目標人口2万人を達成するためにも、定住環境等の整備は大切である。健康で安心して生活できる「うるおいとやすらぎのあるまちづくり」をどのように進めるのか。

麦田博穂議員 高齢者の健康保持や社会参加、生きがいづくり、子育てをサポートする各種の事業は大事である。町内に約八五〇人の在宅独居高齢者がいるが、安心して生活できるよう緊急連絡システムの態勢をつくるべきではないか。

北村町長 うるおいとやすらぎのあるまちづくりは、行政が一  
度といつて乗り越えていかなければならぬ。厳しい財政事情のなか、可能な限り、有利な補助事業の導入や重点予算配分を行い、産業振興と景気対策に取り組みたい。



うるおいとやすらぎのあるまちづくりをめざして（本町の中心市街地）

町長 ジェンダーフリーは  
特認校助成は  
学校週五日制の対応策は

麦田議員 宮之城農業高校と同じように、宮之城高校も振興対策を講ずるべきではないか。

町長 宮之城の高校振興対策として、学校・PTA・同窓会の方々と具体的に協議を進めているところであり、今後